

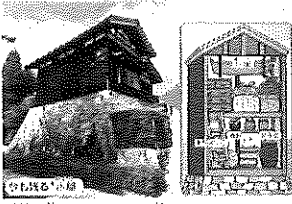
低い土地のくらし新聞

川に囲まれた人々の暮らしとは？

岐阜県海津市は三つの大きな川の下流にあります。川と川に囲まれ、昔から水害に襲われていました。こうした場所ではどのような工夫をして、水害から暮らしを守ったのでしょうか？

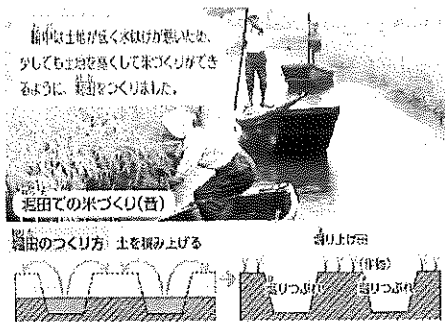
暮らしを守るために

海津市にある輪中では、水屋と呼ばれる建物を建てたり、少しでも高い土地に家を建てたりして水害から暮らしを守りました。



水が豊かな土地のよさ

川に多く囲まれることは水害が多くなるというデメリットだけではなく、良いところもありました。それは、豊かな水を生かして農業が盛んに行えるということです。ただ、輪中の土地は水はけが悪く、沼のような土地で米づくりがやりづらかったそうです。そのため、堀田という田をつくり、米づくりがしやすいように工夫しました。



川口って？

私は低い土地の暮らしについて調べて、川口のことになったので、調べてみました。水害ハザードマップを見ると、川口市は荒川、利根川、綾瀬川という3つの大きな河川に囲まれていて、それぞれに水害の危険性があるようです。「川口市の内水害に関する情報について」を参考になると、川口市のほぼすべての地域で道路冠水などの事例があるようでした。この事態を解決するために今まで様々な工夫がされてきたと思うと、昔の人のおかげで今はのんびりできているんだと思いました。